

## み教えを次世代につなげる研究・調査

### 3) 能登地域寺院調査

2017（平成 29）年 8 月 25 日～28 日の 4 日間に亘り、石川県七尾市に所在する仏教寺院 20 ヶ寺（本願寺派 6、大谷派 8、曹洞宗 4、日蓮宗 1、高野山真言宗 1、及び葬儀社 2 社）の「寺院調査（聞き取り調査）」、並びに能登島内の集落（野崎町）にて「ご縁集落点検」を実施いたしました。

「調査員」には本願寺派（当部及び総合研究所）10 名、龍谷大学（社会学部社会調査班）の准教授以下学生 20 名に加え、「過疎問題連絡懇談会」（超宗派）の参加メンバーより 13 名（大谷派、高野山真言宗、真言宗智山派、曹洞宗、日蓮宗、臨済宗妙心寺派）が加わるなど、大変大掛かりな調査となりました。

#### 「寺院調査（聞き取り調査）」

寺院への「聞き取り調査」については、各班 4～6 名程度が 4 つの班に分かれ、約 120 分から 180 分かけて、住職より寺院の置かれている現状や課題、今後の展望について具体的に伺うことが出来ました。

#### 「ご縁集落点検」

他出子の調査から寺院の未来を展望する「ご縁集落点検」では、能登島野崎町の 2 ヶ寺（本願寺派及び大谷派寺院）を会場に、地元住民 20 名が参加するワークショップを行い、翌日は集落の各戸に訪問し「アンケート調査」も実施することが出来ました。

結果につきましては、年度内に現地での報告会を開催した後、『宗報』等機関紙にて報告を行う予定です。この調査をきっかけに地域活性化、寺おこしへのアプローチとしたいと考えています。

#### 「ご縁集落点検」の様子



野崎町の風景



<光顕寺様> ※本願寺派





〈正願寺様〉 ※真宗大谷派



「アンケート調査」の様子



町内訪問の様子

「寺院調査」の様子



地元テレビ局等の取材を受けました



とある寺院の年中行事



地元新聞に掲載されました